

真岡市庁舎



1 階は大きな平面として多くの市民が利用する窓口を集約し、その屋上に多様な市民活動が可能な広場と壁面がガラス張りの多目的空間を併設、2 階から 5 階までは効率的な執務スペースを設けた配置である。市民が気軽に利用できるオープンスペースがあり、開かれた印象を与えている。真岡木綿をモチーフにしたルーバーは、先端を 2 段形状とした 4 種類の横ルーバーを組み合わせることで縦糸と横糸が重なり合うような表情を見せ、ルーバーと外周バルコニーで日射による熱負荷の軽減も図っている。公共施設という端正な建物の威圧感を緩和するとともに、市民のシンボルとなる景観を演出している。



- 【所在地】 荒町
- 【用途】 市庁舎
- 【建築主】 真岡市
- 【設計者】 株式会社松田平田設計
- 【施工者】 鴻池・剋真・松本特定建設工事共同企業体
光陽・栄真特定建設工事共同企業体
岩原・扶桑・ウエノ特定建設工事共同企業体